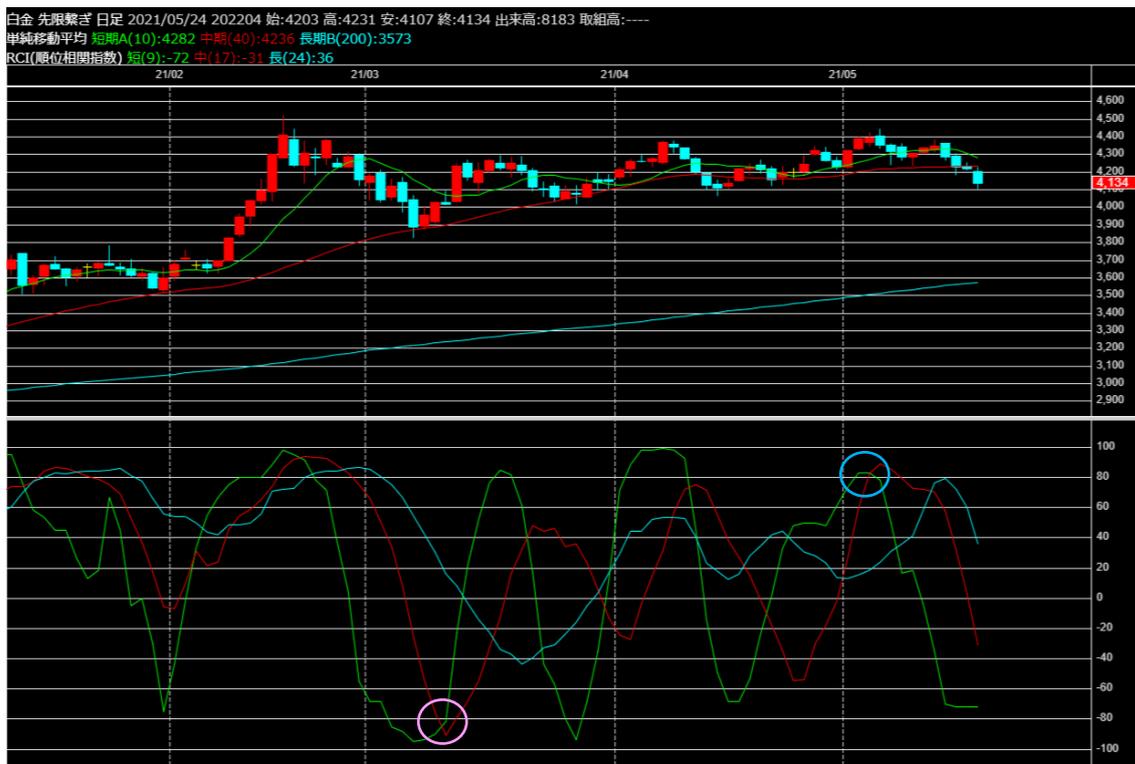


<白金標準先物、JM 社の供給過剰報道の波紋>



(出所：オアシス)

JM (ジョンソン・マッセイ) 社は、PGM マーケットレポートを発表し 2021 年プラチナ需給予想は 19.1 トンの供給過剰と発表している。そのため市場の供給不足の安心感が疑心に変化し 4300 円を下回ると、週末にはラガルド ECB 総裁が 6 月開催の ECB 理事会では大きな変更はないと言及し、為替市場のユーロ安：ドル高の動きを誘い 4 月以来の 4107 円まで下値を試している。しかし WPIC の 5 トンの供給不足に続き、UBS も 2021 年の需給バランスは、パラジウムの割高な商品からプラチナの割安な商品へと触媒需要の代替が進み、需要の 2.3%に当たる 185000 オンス (5.7 トン) の供給不足を予想している。

そのため JM 社の供給過剰の波紋やユーロ安：ドル高を受けて、目先 4100 円を確かめる値動きを行う可能性は高いが、NY 白金が 1150 ドルを維持する様であれば、白金標準先物で 4100 円割れは下値抵抗が強まるだけに、売り誘いの値動きに注意したい。

(2021 年 5 月 23 日記載)

<テクニカル>

順位相関指数 (RCI) では、短期 (9 日) が-68%で下げ止まり、中期 (17 日) が-30%で下げている。また大勢を示す長期 (24 日) は+34%で下げている。そのため全体としては弱気の流れを意識した下向きの値動きが予想される。しかし大勢を示す長期がプラスサイド (強気) の位置であり、短期が下げ止まり中期との乖離が縮小しながらクロスが発生が近付いており、来週中には下げ止まる確率が高いと予想される。